

インフラメンテナンス国民会議 第1回四国ピッチイベント(平成30年11月15日開催)

【開催概要】

- 日時：平成30年11月15日(木) 13:30~15:30
- 場所：愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール
- 出席者：
(行政) 愛媛県、高知県、地方公共団体及び四国地方整備局
(大学) 愛媛大学 矢田部特命教授、吉井教授、楠本特任教授他
(民間企業他) 四国内のコンサルタント、建設業企業等

開会挨拶



- 四国からの技術発信には、当会議が重要な存在。
- 四国では、決して大きくない会社であっても、全国に認められる技術を持っている。
- 小さな技術であっても、世界に展開していく技術を発信する意識を持って取り組んでほしい。

矢田部 龍一 氏(愛媛大学 特命教授)

基調講演



演題： 沈下橋における鋼管パイルベントの座屈損傷と復旧計画

- 高知県四万十市の岩間大橋(沈下橋)を事例に鋼管パイルベント式橋脚の損傷原因について、流水によるカルマン渦の影響を推定して解説。
- 鋼管杭の腐食の点検技術として、岡山大学塚田教授の測定機器により現場実装による測定結果を紹介。
- 既設置の鋼管杭長の測定調査技術や破損した鋼管杭の補修技術・SSPI工法を紹介。

楠本 雅博 氏
(愛媛大学 特任教授)

閉会挨拶



- 日本の経済を維持していくためには、インフラをしっかり維持することが極めて重要。
- 人口減少社会における生産性向上のために、新技術を活用した道路サービス水準の維持を実現してほしい。
- 今後、更なる技術発展で実用化が進展していくことを期待している。

吉井 稔雄氏(愛媛大学 教授)

【主な議事】

- 基調講演(楠本 雅博 愛媛大学特任教授)
 - ・ 「沈下橋における鋼管パイルベントの座屈損傷と復旧計画」の発表。
- ピッチイベント(民間業者4社)
 - ・ 「路面陥没等危険要因の対策とデータベース化」に関する最新の技術やノウハウ・シーズ技術を紹介。

ピッチイベント(自社製品やサービスの紹介)



八木澤 氏
(株)土木管理総合試験所

- ▶ 道路・軌道の異常度診断ビックデータ共有システム『ROAD-S(ライブラリ化された診断データを検索して取得するサービス)』を紹介。
- ▶ ビックデータ化させるための高速診断技術や閲覧するための大型データベースシステムの開発、試行導入における実証実験を紹介。



井上 氏
ニチレキ(株)四国支店

- ▶ 効率的な路面陥没予測手法として、路面性状測定車(ロメンキャッチャーVPW)による路面陥没評価案を紹介。
- ▶ 舗装コスト縮減(長寿命化)材料として、クラックシールNXやノンクラックファルト等を紹介。



河村 氏
(株)富士交通・道路データサービス

- ▶ スマホを活用した『簡易路面診断サービス』として、『道路パトロール支援サービス(道パト)』を紹介。
- ▶ 路線数の多い自治体の舗装点検で「低コスト」かつ「効率的」に実施できる『道パト』の活用事例を紹介。



馬場 氏
(株)カナン・ジオリサーチ

- ▶ 位置特定性に優れた路面下空洞調査技術開発として、地上と地下の全方位連続3次元化を時速80kmで実現する『3次元地中レーダ探査車(GMS3)』を紹介。
- ▶ GMS3による路面下空洞探査や全方位3次元化の活用事例を紹介。